



オカリナ・ケーナ奏者 和田名保子
『私撰集2018』

和田名保子

Tonagaboo



■日 時 **11月9日(金) 18:30開場 19:00開演**

■会 場 **電気ビル みらいホール** 福岡市中央区渡辺通2-1-82 電気ビル共創館4階

■後 援 福岡市・(公財)福岡市文化芸術振興財団

■入場料 / ¥4,000 (当日 ¥4,500)

ローソンチケット Lコード 83486 全国のローソン・ミニストップ内のLoppi (ロッピー) にて

■主催 / 問い合わせ Moonlight Office 090-3734-3367 (和田)

題字 / 悠杏

18時15分よりみらいホールのロビーにて、女流書家悠杏によるコンサート題字の書道パフォーマンスがあります。



オカリナ・ケーナ奏者
和田名保子
～私撰集2018～
Tong Poo

こんにちは
この度の第20回単独公演の開催にあたり、これまでの全ての演奏会について振り返ってみました。この単独公演の他にも、お寺や神社、山小屋やカフェなどいろいろな会場で、沢山のの方に、私の演奏を聴いていただきました。その数、なんと延べ一万人弱。まだまだ未熟な時代から今まで、なんと多くのお客様に支えていただいたのだらうと、身の引き締まる思いがいたしました。お客様の他にも、共演していただいた様々なジャンルの演奏家、そして編曲家、音楽家だけではなく、書家、俳優の方、写真作家の方まで、私を支えて下さっただけではなく、多くの素晴らしい刺激をいただきました。私の音楽の中には、そんな沢山の想いや願いが、宝のようにぎっしりと詰まっていることに、改めて気づき、感謝が溢れてきました。今回のコンサートは、そんな20年の集大成であり、その宝をここからさらに輝かせるための飛躍となる公演になればと思います。また、この公演では、一時的に休止していた、演奏ユニット「雅天空」を再開いたします。加えて、尊敬する作曲家の寺嶋民哉さんも、駆けつけてくださいます。これまでの和田名保子の歴史を見ていただき、これからの和田名保子に期待していただける公演にしたと思います。お誘い合わせの上、ご来場をお待ちしています。



オカリナ/ケーナ奏者 旋律作家 和田名保子

福岡市を中心に演奏活動を展開
創作のテーマは、星、月、地球、古代日本、シルクロード、そして生命(いのち)。既成のオカリナ/ケーナ音楽の枠を越えた独自の音楽世界には、クラシック、ワールドミュージックなど幅広いジャンルの音楽家はもとより、舞台演劇家、書道家など独自の世界観のアーティストから賞賛とともに、共演を求める声も寄せられている。各地のオカリナ/ケーナファンの呼びかけに応え、またオカリナ/ケーナの更なる普及を目指し各地でのコンサートを展開中。年一度の単独コンサートは、今年2018年20回目の記念公演を迎える。これまでに12種類のオリジナルアルバムをリリース。



電気ビル みらいホール 福岡市中央区渡辺通2-1-82 電気ビル共創館4階

- 交通アクセス
- 西鉄バス「渡辺通1丁目」バス停近く
 - 西鉄大牟田線「薬院駅」より徒歩5分
 - 地下鉄七隈線「渡辺通駅」直結

◆ 共演者



佐藤金之助 (Piano)

ピアノ弾き シャンソン歌手
音大ピアノ科在学中より演奏活動開始。
イベントなどの生演奏、バビロンでの演奏、作曲等をする。
現在は、出身地の福岡を拠点にシャンソン伴奏、歌、ヒーリング系ピアノを主に弾き、大柄な体格なイメージとは裏腹に優しい音使いを得意とする。
北海道から沖縄まで全国を津々浦々向歩き、各種コンサート、ライブに出演している。渡辺えり、相島一之、千葉和臣(海援隊)、各氏と共演、スペイン、フランスでの出演歴もある。



関原弘二 (Cello)

響ホール室内合奏団首席チェロ奏者
福岡教育大学非常勤講師
東京音楽大学卒業。堀了介、鈴木博幸の各氏に師事。
1992年より上海市、北京市、南京市、青島市、韓国などアジアで演奏を行う。
1998年佐世保市、2005年アクロス福岡、2010年長崎、2015年熊本にてチェロ協奏曲を演奏。
1999年高崎市、北九州市にてリサイタル。2003年、2004年響ホール室内合奏団の英国公演。
現在も韓国やベトナム等で国際交流コンサートを行っている。
福岡を拠点として、演奏活動や音楽プロデュースを展開中。



松下隆二 (Guitar)

福岡市出身。
七才よりクラシック・ギターを始める。
いくつかの国内ギターコンクール優勝のち渡仏し、パリ・エコール・ノルマル音楽院にて研鑽を積む。
帰国後はソロ・リサイタルのほか編曲に基づきさまざまな楽器とのアンサンブルに力を入れる。
これまでテレビ、ラジオ出演や数々のレコーディングを経験する。
2012年より唐人町ギター教室(福岡市中央区)を主宰し、個人レッスンおよび生徒によるアンサンブル活動にも力を入れている。



山村誠一 (Percussion, Steel pan)

学生時代フルバンドでsaxを吹き、80年代ラテン系パーカッショニストとして活動、90年代よりスティールパンに着手し、マルチ奏者・作曲家として現在にいたる。リーダーバンド、ソロ含む過去13枚のCDをリリース。ギターの押尾コータローとのDUOアルバムからは、ラジオテーマ曲、NHK・TVの背景曲などで使用、有線放送のパンチャンネルには約400曲ライブラリーされている。又、有山じゅんじ、中村善郎、二階堂和美、他CD制作や公演にも参加。2015年第一回スティールパン世界大会に日本代表メンバーとして参加し9位入賞。劇団四季「ライオンキング」大阪公演に楽器師として出演。コンサート活動の傍らRKC高知放送のTV番組にレギュラー出演等、演奏のみならず幅広く活動している。



小野としか (Contrabass)

福岡市出身。幼少よりピアノ、13歳よりコントラバスをはじめる。
福岡第一高等学校音楽科卒業。2013年東京芸術大学コントラバス科卒業。コントラバスを吉浦 勝喜、永島 義男、西山 真二各氏に師事。
2012年東京四季劇場【秋】にて「ウェスト・サイド・ストーリー」にペニストとして参加。
2013年帰郷。現在、クラシックからジャズまで多方面に活動。
中学校吹奏楽部の指導にも力を入れている。
和光音楽アカデミー コントラバス科講師。

◆ スペシャルゲスト



寺嶋民哉

1988年、熊本の巨大野外音楽ステージ「グリーンピア南阿蘇」でのコンペティションで優勝。その作品は雄大な南阿蘇をバックに7つの巨大スピーカーで音やセリフを飛ばしまくるといふ、当時会場の誰もがそのコンセプトに度肝を抜かれた。この、上京を決めたきっかけとなった作品「イタチネス・オン・アロス」は今ではレア中のレア作品となった。代表作に「半落ち」、スタジオジブリ作品「ゲド戦記」等。2009年8月には、自身の初プロデュースによる映画音楽コンサート「CinemaTrack TRICK TRIP TRAP」を開催、好評を博した。このコンサートをライブワークと位置づけ、今後も開催を予定している。日本音楽著作権協会会員。JCAA日本作曲家協会理事。2004年度映画「半落ち」にて日本アカデミー賞優秀音楽賞受賞。熊本市親善大使。2014年、国内外クリエイター集団「Planet-Terra」を立ち上げる。



悠杏 (書家)

福岡を中心に多くの店舗のサインや商品名をそのコンセプトに沿った書で描き、高い評価を得ている。自由で独創的な表現でありながらも、常に古典作品に精神性を求める姿勢は、広告的観点だけの商業書道とは一線を画している。和田名保子の楽曲のファンであったことが縁で、公演、CDジャケットタイトルを手がけ、演奏と書のライブパフォーマンスも展開中。
2010年 CarreMojjiインテリアデザイン書入賞
2011年 甲州ワインラベルデザイン展 甲州地域ブランド賞受賞
2013年 中津市「軍師官兵衛」推進協議会キャッチコピー・ロゴ部門 優秀賞受賞
2014年 第17回 日本デザイン書道大賞優秀賞受賞(作品「古代米石けん」)
2018年 第51回全日本書道芸術展デザイン書道部門 グランプリ受賞